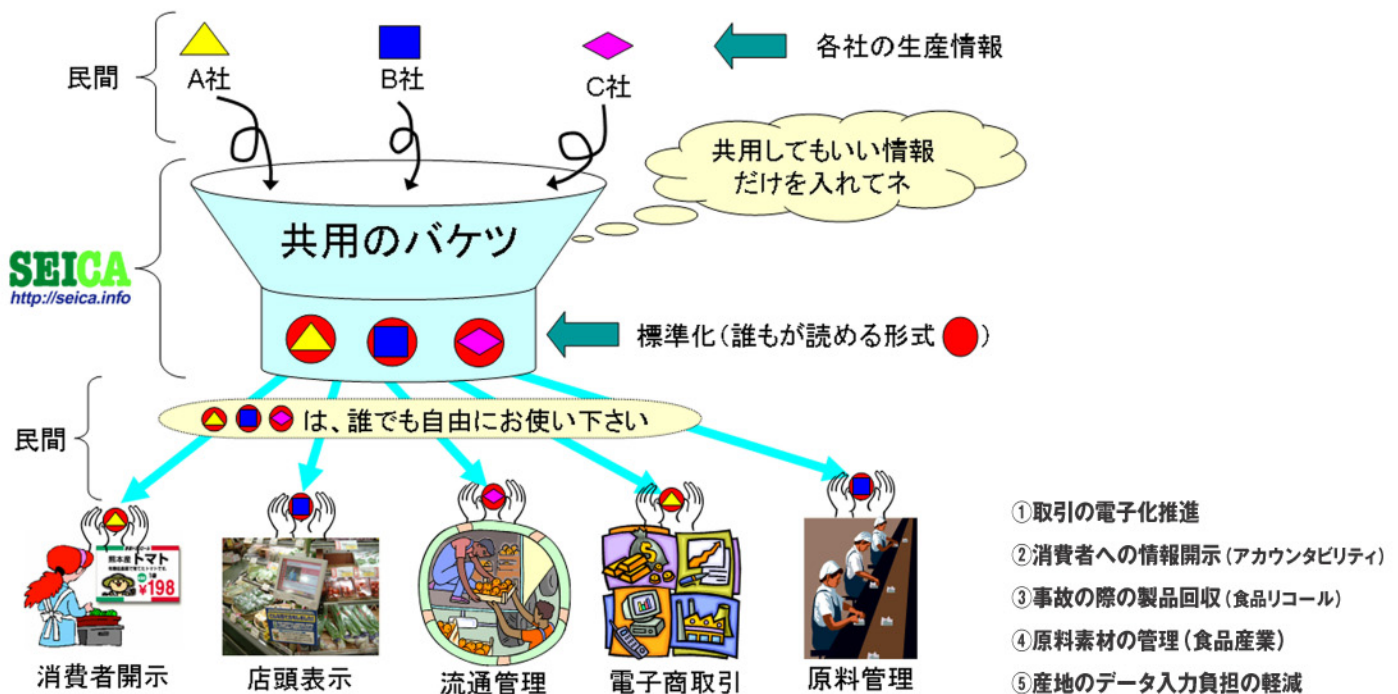


# 生産者と 流通業者・消費者を結ぶ、 青果ネットカタログ (SEICA)

◎青果ネットカタログ (SEICA) は農産物識別番号 (ID) 制度を推進するインフラです。

【活用イメージ】



【特徴】

- 1) 公共性: 誰でもデータ入力でき、誰でも閲覧できる
- 2) 経済性: 完全に無料で利用可能
- 3) 汎用性: あらゆる野菜・果実及びその加工品、米、茶をカバー
- 4) 拡張性: XMLの採用により、将来の仕様変更にも柔軟に対応可能、全農産物を対象にしたスケーラビリティ
- 5) 安定性: 農林水産省研究計算センターにて24時間365日の安定運用と堅牢なセキュリティ
- 6) グローバル性: インターネット、XML Schema、SOAPなどの世界規格の採用
- 7) 先進性: 食総研の研究成果をいち早く実装し、常に進化を続けます
- 8) 発展性: 入出力のWebサービス機能により民間システムが連携可能(豊かなアプリケーションが続々と登場)

【運用方針】

SEICAはオープン性を貫くとともに、なるべく規制を無くして、創意工夫により様々な利用ができる運用を図っています。さらに、誰もが必要とする情報は公的機関が無料で整備し、それを使った付加サービスは民間が手がけるといった展開を目指しています。

【最新情報】

2005年、SEICAは大幅リニューアルをしました。さらに使いやすく、検索機能が大幅に強化されました。また、携帯電話のバーコード機能搭載に対応して、SEICA閲覧用2次元コード作成ソフトを公開中。電話での音声メッセージ登録もできるようになりました。